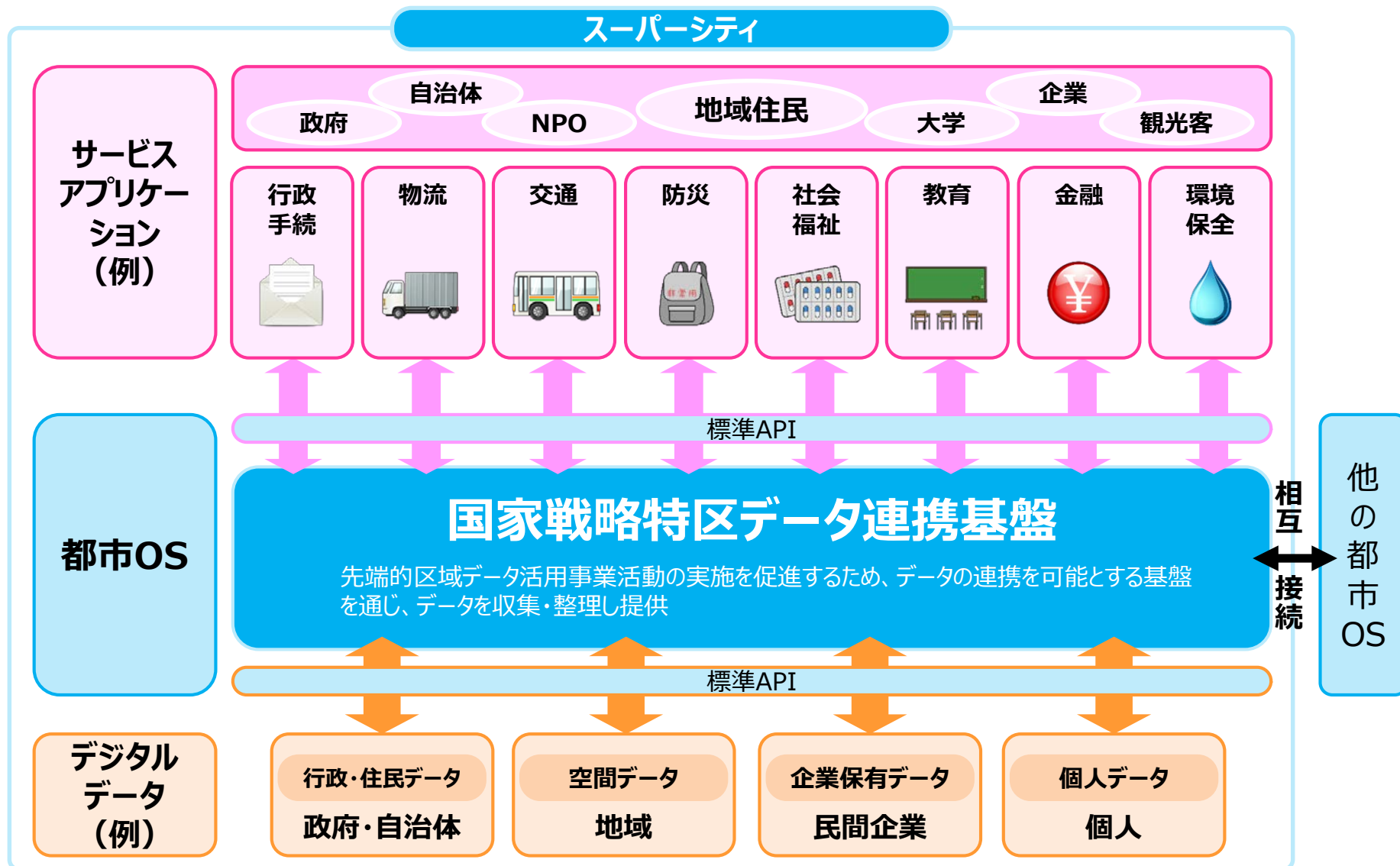


スーパーシティとデータ連携基盤について



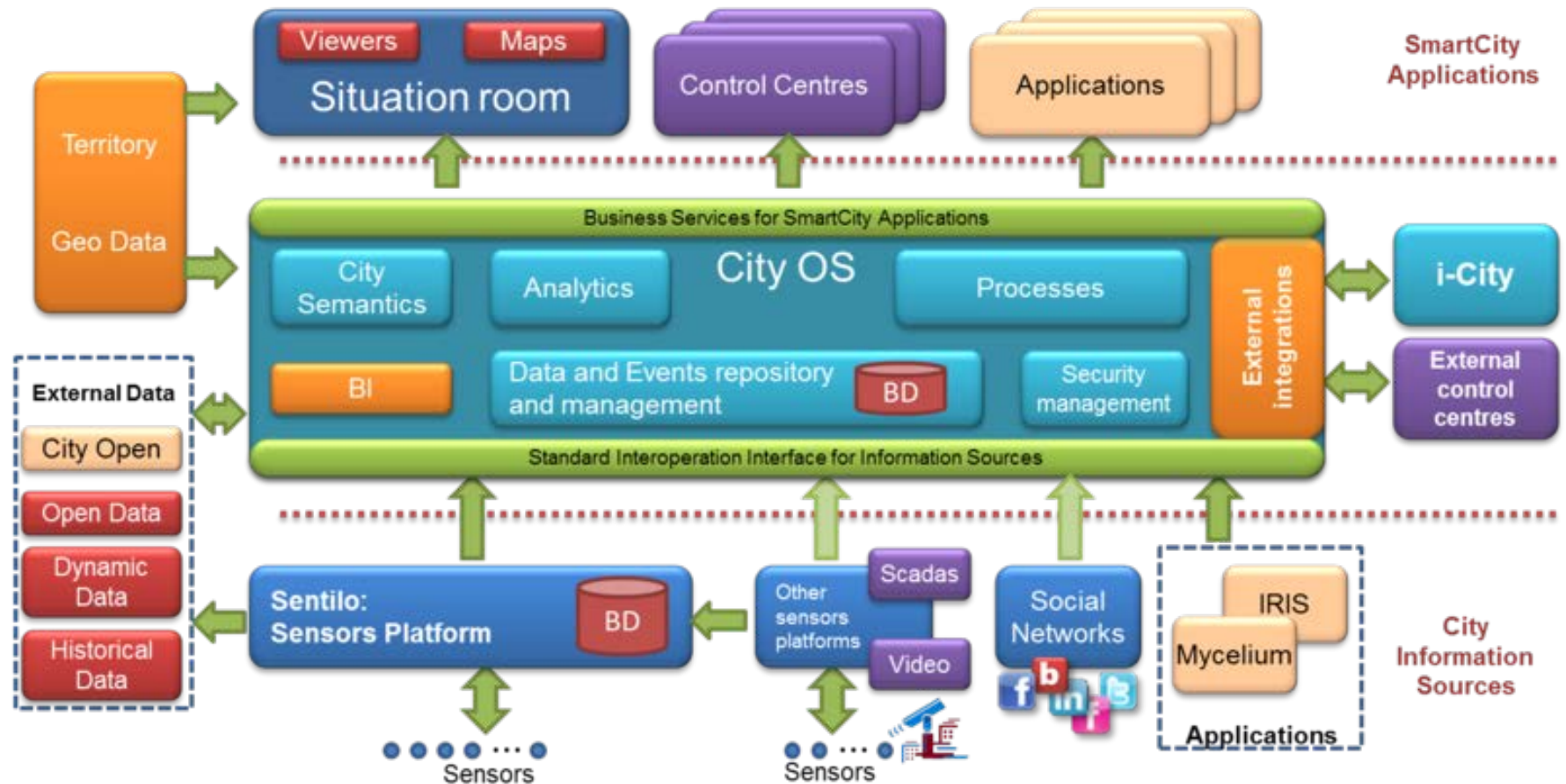
スーパーシティとデータ連携基盤について

スーパーシティは、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「データ連携基盤」（都市OS）を軸に、地域住民等に様々なサービスを提供し、住民福祉・利便向上を図る都市。



参考：海外のスマートシティ（バルセロナ）

シスコ社は、バルセロナを始め、世界25か国以上で50を超えるスマートシティプロジェクトに参画し、都市OSを提供。



出典：バルセロナスマートシティ資料より抜粋

参考：海外のスマートシティ（トロント）

カナダ・トロントにおいては、Google系列のまちづくり会社Sidewalk Labs（サイドウォーク・ラボ社）が、都市OSを軸にまちの構造全体を設計・最適化（基本構想を策定中）

住民サービス

雇用の創出

環境影響
低減

住居費
低減

域内最適
交通

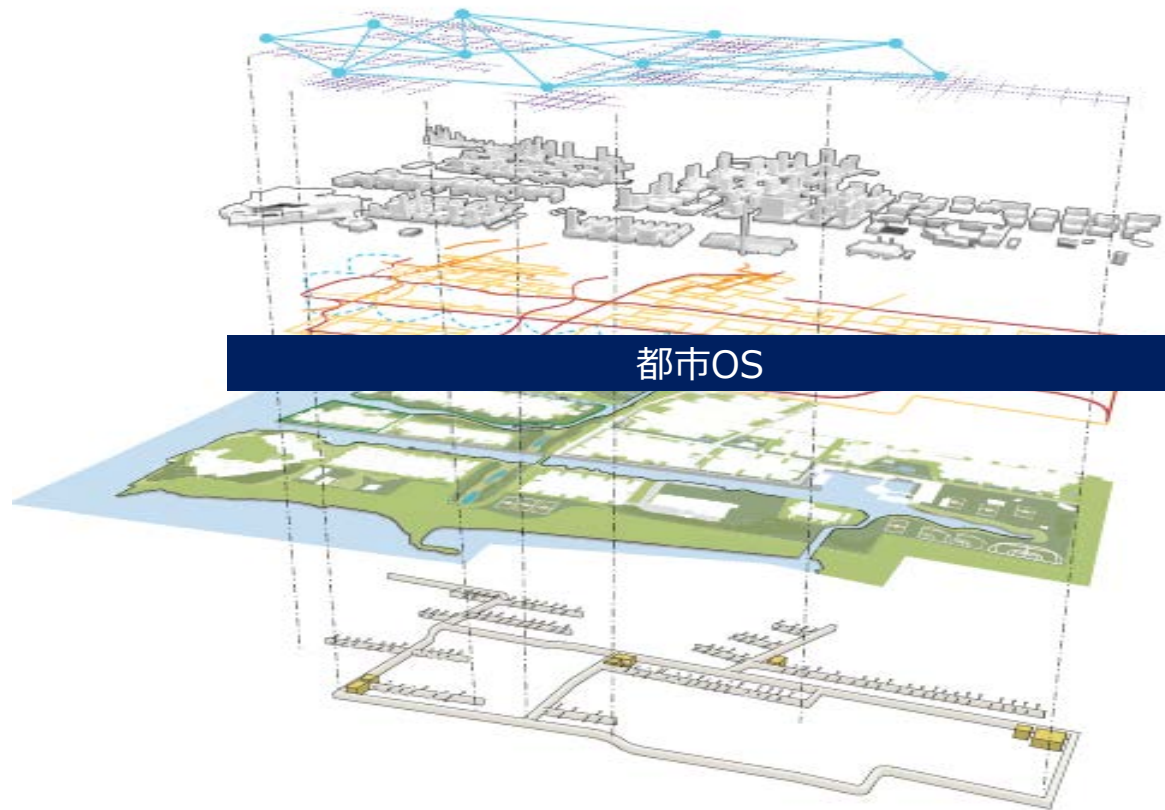
情報レイヤー

建築物

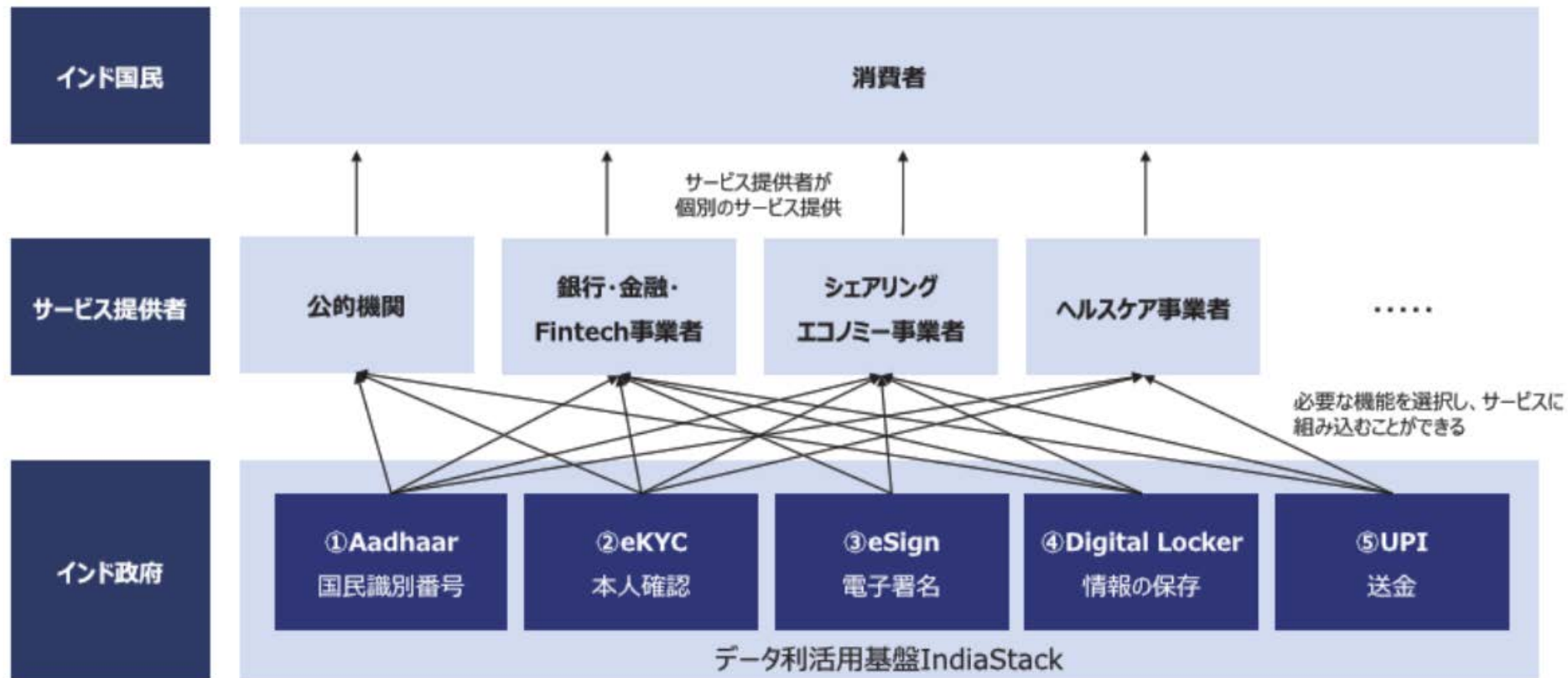
交通網

地上インフラ

埋設インフラ
(センサー等)



インドでは、国家プロジェクトとして「デジタル・インド」をかね、都市OS「インド・スタック」を軸に様々なサービスを提供。



出典：Pramod varma氏およびUnitus seed fundへのヒアリング結果よりみずほ情報総研が作成

香川県高松市においては、都市OSを基盤として、防災、観光、福祉、交通分野を端緒に、様々な住民向けのサービスを展開中。

プラットフォームのイメージ



防災分野における取組例

- ◆ 水位・潮位の観測点にセンサーを設置し、異常な水位上昇等を確認した際、必要な箇所への効率的な職員の派遣を実施。
- ◆ 主たる避難所（コミュニティセンター）へスマートメーターを設置することにより、避難所の使用可否の迅速な把握や避難所周辺エリアの停電確認を行うとともに、住民への正確な避難発令判断の実施。

観光分野における取組例

- ◆ レンタサイクルへのGPSロガーの設置により、レンタサイクルの利用による訪問先、滞在時間などを把握。
- ◆ 外国人観光客の訪問先を把握し、効率的かつ重点的な多言語対応を実施するとともに、市が認識していない新たな観光資源を発掘。

現在、

- ・福祉分野（ウェアラブル端末による認知症高齢者等の見守り、事故予防）
 - ・交通分野（ドライブレコーダーの記録を分析し、ヒヤリハット発生地点の特定）
- 等に展開中。